

ホワッ チーム出東

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



出東小学校 令和7年度学校だより NO.20 3月24日号 文責：秦 康人

35名の6年生の皆さん ご卒業おめでとうございます！

3月17日（火）に、令和7年度の卒業式を行いました。多くのご家族の方に、門出を祝っていただくことができ、卒業生たちも感激だったと思います。誠にありがとうございました。



式辞でも述べたように今年度の卒業生は、コロナ禍の真ただ中で小学校生活をスタートさせた学年でした。学校生活の中でも我慢を強いる場面が多かったと思いますが、今では世の中の雰囲気もずいぶん変わりました。子どもたちも、陸上大会や運動会、修学旅行や下学年との交流など、本来の6年生らしい充実した1年間を送ることができました。

中学校では、今まで以上にたくさんの人と出会って交流を持ったり、いろいろな場所に出かけて経験を積む機会が増えたりします。そんな豊かな人生を、中学校で出会う新しい仲間と、これまで温かい目で見守ってくれた家族と、声をかけてくださる地域の方たちと、そして何より強い絆で結ばれた仲間たちと共に送ってほしいと思います。



令和7年度をふりかえって～「学校評価」の結果から～

先日（3月4日付）、メールで本年度の学校評価の結果をお知らせしましたが、今号（令和7年度最終号）では、その結果をもとに、1年間の学校経営の重点項目の達成具合について、校長の私見をお伝えします。

↓裏面に続く

進んで学ぶ子 「学習に向かう意欲と学力の向上をめざして」

今年度も「考え、深め、広げる」校内研究を行い、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んできました。今年度は「学校図書館活用教育研究事業」を活用した研究指定校として、研究テーマを「図書館活用教育」に据えて、国語科や社会科の研究授業に取り組んできました。授業の詳細は本校BLOGに掲載しておりますので、詳細は右のQRコードからご覧ください。次年度も同指定事業を受けて、「図書館活用教育」を校内研究の中心に置き、学力調査などの客観的資料も参考にしながら、学習意欲とともに基礎学力も高めていきます



やさしい子 「良好な人間関係の育成をめざして」

今年度の学校評価アンケートの結果では、安定した学級経営の項目や学級集団作りや教育相談の体制等について、高い評価となっていました。しかし、個別の事象に目を向けると、日々の学校生活の中で子どもたちが人を傷つける言葉や乱暴な言葉を使っている事案がありました。

次年度以降も、教職員のアンテナを高く張って、子どもの心の小さな変化を見逃さないようにしていきます。また、今年度行ったグループエンカウンター等の活動を継続していく予定です。



元気な子 「メディアとの関わりを中心とした望ましい生活習慣の育成・ふるまいの日常化をめざして」

スマートフォンをはじめとしたメディア機器の使い方を含めた「よりよい生活習慣の形成」は、現代社会の大きな課題の一つであり、本校もこの課題の解決に向かってスマイルカードによる生活リズムのチェックなどの取組を重ねてきました。

また、ふるまいに関する取組では、「校外でのあいさつ」「廊下の歩行」に大きな課題があることが分かりました。「校外でのあいさつ」については、学校だけでなく、家庭や地域も共通の認識をもって指導に当たることが必要です。「廊下歩行」について、今年度は全体的に廊下を走る子どもが目立っていましたが、これについては、学級経営を安定させ、落ち着いて場に応じた安全な行動ができる子どもを育成していくことが大切だと考えます。子どもたちが、学校での生活を安心して送ることができるように努力を重ねていきます。



ふるさとを愛する子 「出東・斐川のよさ（宝）を実感できる学習」

今年度も、地域に出かけて地域の良さを学んだり、地域の方をお招きして様々なことを教えてもらったりする学習を行ってきました。このふるさと教育については、地域の皆様がとても協力的に対応していただいたおかげで、充実した学びとなりました。今後も、出東や斐川の特長を実感して、その良さを自分の言葉で語る事ができる子どもの育成を推進していきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



◆3月12日(木)に、更生保護女性会出東支部より、「寄せ植え花のプランター」を6ついただきました。大切にお世話をしていきます。ありがとうございました。



◆今年度も、お話ワールドのみなさんに、たくさんの本を読んでもらいました。そのおかげで本好きな子どもが増えています。来年度も、よろしく願いいたします。

